

令和7年度・バンドン日本人学校【BJS】学校経営構想



学校教育目標

心身共に健康で、豊かな人間性を備え、
国際社会の中でたくましく自立して生きる児童・生徒の育成
「太陽の子・バンドンの子」 ～明るい心・頑張る力～

めざす児童・生徒の姿

- お互いの違いを認め思いやる「優しさ」のある子
- 自らを鍛え伸ばそうとする「厳しさ」のある子
- 日本とインドネシアの良さを進んで「学ぼう」とする子

めざす学校の姿

- 優しさと厳しさが両立する楽しい学校
- 健康・安全に配慮し命を守る学校
- 自校の強み・特色を伸ばし活かす学校

めざす家庭の姿

- 子どもとの会話を大切にする家庭
- 温かさと厳しさのある家庭
- 子どもの成長を喜びとする家庭

めざす教師の姿

- 優しさと厳しさを両立させる教師
- 子どもをよく観て寄り添い、力を伸ばす教師
- 強い使命感・責任感を持ち信頼される教師

- 良好な人間関係と適切な距離感
- 少人数による個別最適な学び

信頼される学校・魅力ある学校

児童・生徒にとっての学校

- 優しさと思いやりがあふれる学校（共感的な人間関係）
- 自ら鍛え、その努力や頑張りが認められる学校（自己存在感）
- 自ら考え判断し、意思決定場面が数多くある学校（自己決定）
- 違いを認め合い、楽しく過ごすことのできる学校（安心安全な風土）

教師にとっての学校

- 風通しの良いチーム感覚があふれる学校
- 自らの責任を果たし、創造性発揮の場としての学校
- 自らの意志と使命感・責任感を有し、
互いの教師力・指導力を磨き合う学校

保護者にとっての学校

- 子どもを預けることのできる
安心・安全な学校
- 子どもの成長を実感することのできる学校
- 家庭と学校が協力し信頼される学校

重点指導項目

(1) 基礎学力定着と学習意欲向上【知】

- ①「分かる」「できる」を実感できる個別最適な学び実現
- ②少人数の特性・ユニバーサルデザインの視点を意識した授業づくり

(2) 基本的な生活習慣の定着と豊かでたくましい心の育成【徳】

- ③「挨拶」「安全な行動」「話を聴き入る」「生活時間自己管理」の定着・徹底
- ④生徒指導の4視点（共感的な人間関係・自己存在感・自己決定・安心安全な風土）」を基本とし、ねらいを明確にした学校行事、集会活動等の工夫

(3) 体育・健康教育の充実と豊かでたくましい体の育成【体】

- ⑤新体力テストの結果分析、等による意図的・計画的・継続的な体力づくり

(4) BJS ならではの学び、BJS だからこそその学び

- ⑥異文化理解と国際感覚の醸成、多様性を認める共存の価値概念形成や風土づくり
➡「総合的な学習の時間」の充実、「現地校交流」の質的向上

(5) 家庭および学校運営委員会、B J C等との連携と教育環境の整備・充実

- ⑦学校便り、学校HP等による情報発信、関係機関との綿密な連携
- ⑧高い危機・安全管理意識と教育環境整備